

会議名	窓口事務等における証明発行等業務委託事業候補者選考委員会 第1回事業候補者選考委員会
開催日時	令和7年10月31日（金曜日）午後0時30分から午後1時15分まで
開催場所	港区役所9階915会議室
委員	弁護士 水町雅子（委員長） 芝地区総合支所長 横尾恵理子（副委員長） 東京都行政書士会港支部支部長 三木隆（委員） 一財）港区国際交流協会事務局長 今井高樹（委員） 麻布地区総合支所長 太田貴二（委員）（欠席）
事務局	芝地区総合支所区民課
会議次第	1 開会・挨拶 2 委嘱状交付 3 委員紹介 4 委員長・副委員長の選出 5 議題 （1）選考委員会選考スケジュール（案）について （2）事業候補者募集要項（案）について （3）事業候補者選考基準（案）及び選考評価基準（案）について 6 今後のスケジュールについて 7 閉会
配付資料	[席上配付] ・次第 ・資料1 選考委員会選考スケジュール（案） ・資料2 募集要項（案） ・資料2-2 募集要項【様式集】（案） ・資料2-3 仕様書（案） ・資料3 選考基準（案） ・資料3-2 選考評価基準（案） ・参考資料1 窓口事務等における証明発行等業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 ・参考資料2 選考委員会委員名簿

会議の内容	
	<p>【1 開会 ～ 3 委員の紹介】 (事務局より開会の挨拶及び委員の紹介) ～詳細省略～ (太田委員は欠席である旨伝達)</p>
	<p>【4 委員長・副委員長の選出】 (事務局より委員長の選出について依頼)</p>
委員 A	水町委員を推薦したい。 (委員一同異議なし)
水町委員	異議なしということであればお引き受けさせていただく。 ⇒ <u>委員長は水町委員に決定</u>
委員長	副委員長は委員長が指名することなので、区のこと詳しい横尾委員を指名したい。
横尾委員	承知した。 ⇒ <u>副委員長は横尾委員に決定</u>
	<p>【5 (1) 選考委員会選考スケジュール (案) について】 (事務局より資料 1 について説明)</p>
委員長	スケジュールについて、採点はいつまでか。
事務局	詳細は別途調整だが、会議開催の 2、3 日前をめどとしている。
委員長	12 月 4 日に企画提案書が提出期限のため、12 月 5 日に採点表が送られ、そこで期限も示されるのか。
事務局	ご認識のとおり。
事務局	企画提案書の締切日については、提案書の配付作業等もあるため締切時間を正午としたいがいかがか。
委員長	事業者に対し十分な時間がとれていれば問題ないと思うが、異議はあるか。 (委員一同異議なし)
委員長	異議が無いようなので、締切日の締切時間は 12 月 4 日の正午とする。 ⇒ <u>締切日の締切時間は 12 月 4 日の正午としその他は提案どおり決定</u>

会議の内容	
	<p>【5（2）（3）事業候補者募集要項（案）、事業候補者選考基準（案）及び選考評価基準（案）について】</p> <p>（事務局より資料2～3-2について説明）</p> <p>（事務局より資料3-2の加点項目について説明）</p>
委員長	<p>一次選考の通過事業者数が3者程度である点について議論したい。私自身は手を挙げる事業者が多いほうが好ましいと考える。3者に限らないほうが良いと思うがいかがか。</p>
事務局	<p>前回の本件委託のプロポーザルにおいては2者からの応募があったことから今回3者としている。一次審査において点差が僅差である事業者が複数ある場合は、二次通過者を増やすことも可能だと考える。</p>
委員B	<p>現段階で3者に固定する必要はないと考える。一次審査の結果を見てからの判断でいかがか。</p> <p>（委員一同異議なし）</p>
委員長	<p>では、二次通過者の数は3者を目安とし、点数などの評価状況により増減させるとすることとする。</p> <p>⇒<u>二次通過者は3者目安とし詳細は一次選考時に決定</u></p>
委員長	<p>次に一次審査の通過ラインについて、60%が妥当かについて議論したい。</p>
副委員長	<p>60%というのは区で定めたプロポーザルガイドラインに沿った基準である。</p>
委員長	<p>承知した。特段他の委員から異議なければ提案どおりとしたいがいかがか。</p> <p>（委員一同異議なし）</p> <p>⇒<u>一次選考の通過ラインは評価点全体の60%に決定</u></p>

会議の内容	
委員長	次に一次審査と二次審査の評価配分について、一次対二次が2：1となるのが妥当かについて議論したい。
副委員長	配分が2：1というのも区で定めたプロポーザルガイドラインに沿った基準である。
委員長	承知した。特段他の委員から異議なければ提案どおりとしたいがいかがか。 (委員一同異議なし) ⇒ <u>一次：二次の評価配分は2：1に決定</u>
委員長	次に二次審査について議論したい。 一次の企画提案書は全体で用紙何枚程度になる想定か。
事務局	概ね 15、6 枚になる想定である。
委員C	一次審査では企画提案書に加え補足資料を最大 10 枚提出可能としているが、提案書のボリュームと大差ない印象である。企画提案書は何枚、プレゼン用資料は何枚といった上限を設定してはどうかと考えるがいかがか。
委員B	企画提案書はすでに目を通してはいるはずなので、プレゼンで示したい内容をまとめた資料でよいと考える。
委員D	皆さんと同様に資料の枚数制限を設けて、補足資料はプレゼンでアピールしたい内容を書いてもらえればよいと考える。
委員A	同意見である。ただし、二次審査では補足資料にて新たな提案をしないよう、提案書に沿って強調したいポイントなどを示した資料にすべきと考える。
委員長	意見を統合すると、プレゼン用資料は企画提案書の内容を超えない範囲で、10 枚程度目安で提出可能ということよろしいか。 (委員一同異議なし) ⇒ <u>プレゼン用資料は企画提案書の内容を超えない範囲で 10 枚以内に決定</u>

会議の内容	
委員長	企画提案書自体の枚数は1枚から数枚程度ということによろしいか。
事務局	企画提案書の枚数は、審査に当たって論点を明確化するために1枚程度にまとめることを求めている。ただ、詳しく書くべき資料については枚数制限を外すことも有効だと考える。
委員B	具体的に補足したい内容があれば添付資料として枚数を増やすべきと考える。
委員長	他のプロポーザルでも人員体制に関する資料について複数枚の資料を提示した事業者がいた。同様に添付資料として枚数を増やせるということによいか。 (委員一同異議なし) ⇒ <u>企画提案書の各様式は1枚に加え添付資料を追加可能に決定</u>
委員長	次に二次審査のプレゼンと質疑応答の時間について議論したい。
委員A	プレゼンはすでに提案書があるので短くし、質疑については事業者と各委員がやり取りできるよう、5人の委員が4分ずつ、計20分確保できた方がいいのではと考える。
委員長	提案について異議はあるか。 (委員一同異議なし) ⇒ <u>二次審査はプレゼン10分、質疑20分に決定</u>
委員長	次に採点基準表について議論したい。
委員B	現在の運営の中での問題点などはあるか。
事務局	個人情報管理、お客様対応、職員教育や責任者配置、窓口のDX化に向けたキャッシュレス推進などを重視しており採点表にも反映している。
委員B	実際に運営している中でのトラブル事例などはあるか。
事務局	窓口対応に関する広聴はあるが、致命的なトラブル等はない。

会議の内容	
委員B	現在の事業者で人の入れ替わりはあるのか。
事務局	窓口職員の入れ替わりはあるが、責任者については一定程度定着している。
委員D	仕様書で外国語通訳対応に英語と中国語のみ記載されているが、その他の言語についても仕様に記載してはどうか。
委員長	事務局にて仕様内容を検討いただくこととする。
委員長	採点表1(2)、(3)の「従事者の専任性、専門性」について、該当者の経歴についての考慮は不要か。
事務局	提案資料内に従事者の経歴を記載する書類は含まれている。
委員長	キャッシュレスについては採点表4(2)が評価対象となる部分か。また、評価点の重みづけは妥当か。
事務局	採点表4(2)「手数料収納」はキャッシュレスも念頭においた項目である。また、重視するポイントとして評価点の係数も3倍としている。
委員A	現在の事業者について、苦情やヒヤリハットとなる事例を出していることも事実である。そこで、採点表4(4)の緊急時対応として10点を配点している一方、採点表6「独自提案」の項目として15点を配点しているところについて、逆に4(4)「苦情接遇」を15点、6「独自提案」を10点にしてはどうか。
委員C	同感である。また誤交付などのトラブルについては、それを防ぐための施策を具体的に記載させる形とすることはどうか。
委員長	事務局で見直しを行うこととしたい。その他ご意見はあるか。 (委員一同意見なし) ⇒事務局にて委員意見を踏まえ提案要求資料を修正

会議の内容	
事務局	<p>【6 今後のスケジュールについて】</p> <p>11月6日に募集要項を公表し、12月4日の正午まで受付期間とする。 事務局から企画提案書を各委員へ郵送し、第2回の選考委員会は12月19日とする。</p>
委員長	<p>他全体をとおしてご意見、ご質問はあるか。 (委員一同意見なし)</p>
委員長	<p>それでは、これで第1回事業候補者選考委員会を閉会する。 (閉会)</p>